

令和 5 年度

公益財団法人いわき市教育文化事業団予算書

(抜粋)

自 令和 5 年 4 月 1 日

至 令和 6 年 3 月 31 日

公益財団法人いわき市教育文化事業団

目 次

	ページ
事業計画書	1
収支予算書	11

事業計画書

令和5年度事業計画

令和5年度は、新型コロナウイルス（以下「新型コロナ」という。）感染症の拡大防止に十分意を用いる一方、これまで行われてきた様々な制限が緩和され、人々の移動が増加することが想定されます。このことから、市施策との連携を図り、交流人口の増大など本市の活性化に寄与していきます。

文化財部門は、昨年度に引き続き、いわき駅周辺の再開発事業等による発掘調査が3地点予定されるほか、本丸跡や内堀跡の報告書作成が進められることから、安全に十分配慮し、適切な業務の推進を図ります。

施設部門は、現指定管理期間の最終年となる施設が6施設を数えます。これまでの事業実績に対する評価・検証を適切に行い、今年度の事業推進を図りながら、次期指定に向けた事業計画の作成に取り組みます。さらに、新型コロナについては、国・県・市等の動向を見極めながら、市民が安心して利用できる施設運営と利用者の拡大につながる事業展開に努めます。

基本理念

当財団は、埋蔵文化財の調査及び研究を行うとともに、教育水準の向上及び文化の発展に寄与するために、人の営みや地域に根ざした歴史・文化を正しく継承、発信し、新たなまちづくりに活かしていくことを目指します。

今後とも、公益法人としての社会的責任を強く自覚し、行政や地域団体等との「連携・協働」の強化を図りながら、社会ニーズを捉えた管理運営を誠実に実行します。

基本方針

- ① 教育文化の振興とまちづくりへの貢献
 - ・地域の歴史や文化を知る機会をつくり、市民にとって魅力ある運営を行います。
 - ・蓄積してきた調査・研究成果を提供し、学校教育や社会教育等に貢献します。
- ② 市民に愛され親しまれる施設の確立
 - ・多様化・高度化する市民ニーズを捉え、市民が内外へ誇れる施設を目指します。
 - ・地域の歴史や伝統を体験・学習できる施設として、機能を十分に発揮します。
- ③ 時代の変化に対応できる運営体質の構築
 - ・施設の設置趣旨に沿った事業を実行するため、適切に専門職員を配置します。
 - ・幅広く柔軟な管理運営のために、研修を充実させ、人材の育成強化を図ります。

1 文化財部門(公1 埋蔵文化財の発掘調査事業)

本年度の事業は、市内13件、市外1件、計14件の事業受託を予定しています。

試掘・確認調査は、開発に伴う事前調査で、埋蔵文化財包蔵地内の個人住宅建築や民間開発、公共事業等を要因として実施します。

発掘調査は、いわき駅周辺の再開発事業に伴い平城跡（平字並木の杜、白銀、柳町）において、3地点で予定されています。

資料整理は、平城跡の並木地区について、令和5年度調査分までを含めて実施します。

報告書作成・刊行は、平城跡の過年度発掘調査分の本丸跡や内堀跡、岡ノ内遺跡、新林遺跡、地藏院前遺跡、館跡遺跡、応時遺跡、馬場前遺跡の8遺跡を予定しています。さらに、確認調査の梅ノ作瓦窯跡群の報告書作成作業を継続します。

事業の実施にあたっては、発掘調査等における安全な作業環境の確保と事故の防止、事業の円滑な実施に努めます。

No.	事業名	委託者	遺跡名	事業内容
1	市内遺跡発掘調査 (試掘・確認調査)	いわき市教育委員会 (文化財課)	市内一円	試掘・確認調査 整理、報告書作成
2	都市計画道路搔槌小路幕ノ内線 道路(柳町工区)改良工事	いわき市(土木課)	平城跡 (平字柳町)	発掘調査
3	いわき駅北口再開発	東日本旅客鉄道株式会社	平城跡 (平字白銀)	発掘調査
4	いわき駅並木通り地区市街地再 開発(駐車棟)(区画道路)	いわき駅並木通り地区市 街地再開発組合	平城跡 (平字並木の杜)	発掘調査
5	並木通り地区市街地再開発事業	いわき駅並木通り地区市 街地再開発組合	平城跡 (平字並木の杜)	整理
6	中心市街地活性化広場公園整備 事業	いわき市 (公園緑地課)	平城跡 (平字旧城跡)	報告書作成・刊行
7	いわき駅南口ホテル新築工事	東日本旅客鉄道株式会社	平城跡 (平字田町)	整理 報告書作成・刊行
8	梅ノ作瓦窯跡群範囲確認調査	いわき市教育委員会 (文化財課)	梅ノ作瓦窯跡群 (小川町下小川字梅ノ 作)	報告書作成
9	埋蔵文化財発掘出土品等整理 事業	いわき市教育委員会 (文化財課)	館跡遺跡ほか (植田町館跡)	報告書作成・刊行
10	市内遺跡発掘調査 (報告書作成)	いわき市教育委員会 (文化財課)	応時遺跡 (勿来町大高応時)	報告書作成・刊行
11	南白土関根2号線改良工事	いわき市 (土木課)	岡ノ内遺跡 (平南白土字岡ノ内)	整理 報告書作成・刊行
12	千ヶ久保・松原線改良工事	いわき市 (土木課)	新林遺跡 (平藤間字新林)	整理 報告書作成・刊行
13	高久保育園新築工事	いわき市 (こどもみらい課)	地蔵院前遺跡 (平下高久字清水)	報告書作成・刊行
14	町道馬場前線改良工事	檜葉町	馬場前遺跡 (檜葉町大字上小塙字 馬場前)	報告書作成・刊行

2 施設部門（公2 教育文化施設の管理運営事業）

8施設中6施設は、指定管理期間の最終年度となります。次期指定管理者応募に向けて、今期の振り返りと評価を的確に行い、新たな事業計画を作成します。

通常業務では、公共施設の持つ意義を自覚し、施設の設置目的や機能に基づいた管理運営に努め、利用者への公平かつ平等なサービス提供を図ります。

また、利用者の意見を適宜把握しながら、質の高い事業を展開することで、サービス向上を図ります。

さらに、施設設備の維持管理に当たっては、利用者の安全確保を最優先に、細心の注意を払い、市や県と連携しながら快適で利便性の高い施設環境を確保します。

(1) いわき市立草野心平記念文学館及びいわき市草野心平生家

企画展示事業は、草野心平生誕120周年記念を冠して、春、夏、秋の計3回の企画展を開催します。

春の企画展「草野心平の詩 海は己れの海鳴りをきき。」では、「海」を主題とした詩篇の他、故郷・いわきの沿岸部や国内外の海について触れた随筆で、生誕120周年を迎える詩人の創作上の「海」、実体験した「海」を紹介します。

夏の企画展「文学館開館25周年記念 宮西達也 New ワンダーランド展」では、200万部のベストセラー「ティラノサウルス」シリーズや、正義の味方がおとうさんとして世界や家族の平和を守るために奮闘する「おとうさんはウルトラマン」シリーズ等、絵本作家宮西達也の代表作の絵本原画を中心に、制作資料や秘蔵のスケッチ、ラフ原稿、絵本作品のジオラマ等を展示します。

秋の企画展「中山義秀展」では、時流に流されず自らのテーマを追求し続けて文学への道に邁進した福島県出身の作家、中山義秀の作品と生涯を展覧し、いわきや草野心平との関わりについても紹介します。

また、所蔵品展として、いわきゆかりの文学者等を紹介するスポット展示を年4回、開催します。

さらに、文学関連をはじめとした多彩な事業を展開します。文芸講演会では活躍中の方を講師に招いて講演会を開催し、文学散歩では、いわきゆかりの文学についての理解を深めるきっかけを提供します。また、アートパフォーマンス事業では、7、8月の土曜日の夜間開館時の演奏会等幅広い芸術活動にふれる機会を提供します。

生家では、「草野心平生誕月の催し」「カエルのクラフトワークショップ」「子どもじゃんがら」や、没後36回忌「心平忌」・第29回「心平を語る会」「草野天平の集い」等を開催します。

(2) いわき市暮らしの伝承郷

企画展示事業は、8月から12月にかけて「愛谷江筋と流域の歴史」を開催します。本展では、江戸時代に整備された農業用水「愛谷江筋」を取り上げるとともに、周辺地域の歴史等について紹介します。なお、令和4年度の3月から令和5年度の6月までは磐城平城や城下町の歴史・民俗等を絵図やその他の資料から読み説く「磐城平城の絵図と城下の年中行事」を開催しています。

常設展示事業は、既存の展示を基本として実施します。また、休憩コーナーでは新しい収蔵資料や年中行事の展示の他に、時節の話題を紹介し、来園者サービスの向上に努めます。

古民家維持管理事業は、古民家の状態を確認し、必要に応じた修繕等を行うとともに、畑や里山も含めた景観と昔の暮らしの復元・展示を行います。また、かつて行われた生活文化の保

存・伝承を図り、来館者に地域の生活文化の移り変わりなどを学ぶ場を提供します。

調査研究事業は、市内で行われている祭礼や年中行事、民具、伝統芸能等を対象として実施し、成果を発表します。

講演会事業は、いわきや県内の人々の暮らしや地域・社会のあり様について学ぶ伝承郷講座を4回、初心者を対象にした古文書講座を4回実施します。

資料整理事業は、収蔵資料の適切な管理を実施します。

体験学習事業は、昔遊びや伝統技術を体験し伝承する機会等を提供する「けん玉道場」「竹かご作り」「正月飾り作り」「伝承郷で見つける自由研究」等のほかに、篠笛や箏等の音色に触れる演奏会、子どもたちが日本の伝統的な文化を体験できる「めざせ！『子ども落語家』講座」「キッズじゃんがら体験教室」を実施します。

年中行事事業は、近年では見られなくなった「端午の節句飾り・菖蒲と蓬挿し」「蚊帳吊り」「エビスコ」「こと八日」「餅花飾り」等を実施し、先人が培ってきた祈りや生活の知恵を来園者に紹介します。なお、行事本来の季節感を感じてもらえるよう、一部の行事は陰暦に基づいて実施します。

ボランティア育成事業は、生涯学習活動の一環として積極的に推進します。団体来園時のガイドボランティアには、資質向上を図るため毎月1回の意見交換・勉強会等を実施します。園内民家ゾーンでの花と野菜作りボランティアは、園内展示の趣旨に沿った栽培種を、適宜、指導・助言します。囲炉裏の火焚き、年中行事補助を行う民家維持管理ボランティアは、活動の際に注意事項を確認し、安全の確保に努めます。

そのほか、各種団体との連携事業や、民具の貸し出しや体験、学校や公民館への出前講座を実施し、市民文化の発展に寄与できる施設づくりに努めます。

(3) いわき市勿来関文学歴史館

企画展示事業は、4月から8月に、いわき市出身の俳人山名菅村を紹介する「山名菅村～表現を愉しんだ人格者～」、11月から2月に、いわき市や福島県内で活躍した刀匠の作品や刀剣にまつわる歴史を紹介する「刀・刀・刀2～福島の刀剣～」を開催します。

テーマ展示事業は、9月から10月に、いわき市周辺に残る草野心平の詩歌碑と心平と親交のあったいわき市出身の詩人の詩歌碑を紹介する「草野心平生誕120周年記念 草野心平書の詩歌碑」、2月から4月に、勿来関にまつわる文学と歴史を紹介する「勿来関と歌枕」を開催します。

期間中には、企画展の内容をより深く理解するための講演会と、学芸員が解説するギャラリートークを行います。

特別イベントは、日本の伝統文化である落語に親しむ「吹風殿寄席」、勿来の関公園に関する文学・歴史・自然を紹介する「いわきあるき2023 勿来関の文学・歴史・自然さんぽ」、夏休み・冬休みに親子で楽しめる内容の「クラフト教室」を実施します。

このほか、勿来関に関する文学・歴史等を解説する出前講座や、資料閲覧・貸出への対応も要請により実施します。さらに、当館オリジナルグッズ及び商品委託販売を行います。

なお、隣接する勿来の関公園体験学習施設吹風殿の開錠施錠等業務をあわせて実施します。

(4) いわき市アンモナイトセンター

前年度に引き続き、常設展示及び体験発掘を主たる事業とし、その他、各種事業を展開します。化石発掘体験事業は、個人や家族を対象とした一般体験発掘を毎週土・日曜日に実施するほか、5月の連休及び8月のお盆休み等に特別実施日として実施します。また、学校団体等を対象とした特別体験発掘は、原則として一般体験発掘実施日以外の開館日に実施します。

企画展示事業は、小・中学校の夏休み期間に「最新!!いわきの古生物!!」展、冬休み期間に「ア

ンモノイトセンター今年「化石」展を開催します。近年、急速に研究が進んでいるいわき市産の古生代～新生代の化石や、体験発掘で一年間に産出した化石を展示・解説し、古生物学や地質学の魅力を伝えることを目指します。また、対象を幼児や小学生に限定せず、大人まで楽しめる展示を実施します。

親子自然探訪教室事業は、親子を対象とし、祝日を中心に年6回実施します。古生物学以外にも自然科学分野全般という広範なテーマでの体験学習カリキュラムを通して、自然や理科への興味と知識を育む機会を提供します。

公開シンポジウム（化石講演会）は、例年と同様に久之浜中学校を会場として9月に実施します。双葉層群や中生代に関連したテーマ（令和5年度は恐竜）に関する専門講師を招聘し、化石を含む地球科学全般の講演により、地域の小・中学生や一般の方々に古生物学や地質学を研究する魅力を伝えます。

これらに加え、地質学・古生物学に特化した博物館であるという特色を生かし、要請に応じて学校や各種イベントに出張し、講演やミニ体験発掘等の学習プログラムを提供する出前講座を実施します。また、地域の活動・イベントを通して地域社会とのさらなる連携強化に努めます。

自然史系他館や大学と連携した研究活動を行うとともに、標本登録についても積極的に推進することで当館の魅力と学術的付加価値の創出へとつなげます。

(5) いわき市考古資料館

企画展示事業は、4月から7月に、令和4年度に市内で実施した遺跡の発掘調査、試掘・確認調査の成果をいち早く紹介する第1回企画展「令和4年度 発掘調査速報展」を開催します。また、今年度は、令和元年から中世、弥生、古墳、縄文とそれぞれの時代を主題に展開してきた企画展構成の最後となる「古代」を探ります。7月から11月は、遺物に記された情報から古代のいわき地方の統治の仕組みや人々の生活の様子を探る第2回企画展「古代の文字－墨書と線刻－」、12月から3月は、根岸官衙遺跡群を中心に、石城郡内での発掘調査成果を通して古代のいわき地方の成り立ちを探る第3回企画展「古代陸奥国石城郡－根岸官衙遺跡群とその時代－」を開催します。

講座・教室は、企画展の主題に関連する「いわきの考古学講座」（全5回）、夏休み中の小学生を対象にした「自由研究教室」、そして、いわき市内の考古学にちなんだ知識の習得と新たなボランティアを育成する「考古資料館講座」の3件を実施します。

体験学習会は、まが玉、土器・土偶・はにわをつくる体験会を28回実施します。また、5月、7月、11月に「考古資料館まつり」を実施し、より多彩な体験内容を提供します。

調査研究事業は、主に企画展にあわせた資料について、集成及び検討を実施します。

さらに、学校団体等の体験学習、出前講座、資料についての問い合わせや貸出に対応し、考古学についての知識の普及に努めていきます。

(6) 福島県いわき海浜自然の家

恵まれた自然環境の中で行うさまざまな活動を通して、青少年の心身の健全な育成を図るとともに、県民に多様で魅力ある体験活動の場を提供することに努めます。また、利用者の安全を最優先とし、安全衛生の管理と施設環境づくりを徹底するとともに、新型コロナウイルス感染症に対しても、国・県等の方針や地域の状況を踏まえながら、引き続き適切に対応します。

主催事業では、子どもから大人まで広く県民に施設を開放する「春・秋のオープンデー」、運動の機会を提供することで健康への意識向上を図る「スポーツフェスティバル」、創作活動を通して家族の絆を深めながら自然に親しむ「親子のつどい」「クラフトのつどい」等を開催します。また、小学生を対象として、協調性・社会性や自立心を育むことを目的とした「ふれ

あいサマーキャンプ」及び「ふれあいオータムキャンプ」を各1泊2日で開催します。

研修事業では、学校教育団体及び社会教育団体の指導者を対象とした事前研修会を開催します。学校教育団体については、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策としてオンラインで実施しましたが、団体側から施設見学を兼ねた対面での研修会開催の要望が多く寄せられたことから、令和5年度は、団体側の利便性に配慮しながら、対面による研修会を4・7月に計4回実施します。社会教育団体については、利用が増加する前の5月に活動プログラム研修会を実施し、活動計画の作成を支援するとともに、安全に海浜活動を行うための実技体験を実施します。あわせて、インターネットによる動画配信等を活用することで、当所での活動内容について理解を深めていただくよう努めます。また、ボランティア活動希望者が体験活動を支援するために必要な知識や技能等を学ぶ「ボランティア養成講座」については、年4回実施するとともに、高校生及び大学生の若い世代がボランティア活動に参加しやすい環境を目指します。

そのほか、県と連携しながら、不登校傾向の児童生徒を対象に自然体験活動や交流体験の機会を提供する「心のケアが必要な子ども（不登校等）を対象にした自然体験事業（わくわく自然体験）」、子どもたちの運動不足の解消や体力向上を促すことを目的とした「未来キッズ生き生き事業」等を実施します。「わくわく自然体験」については、関係機構等との連携のもと、児童生徒の協調性や自己肯定感を養いながら、自己形成のきっかけとなる場の提供を目指します。「未来キッズ生き生き事業」については、地域のスポーツ関係団体の協力を得て、プロスポーツ選手による指導やアスレチック活動を取り入れた多彩なプログラムを提供します。

諸課題については、利用者目線で、随時、解決にあたり、県民に親しまれる施設づくりに努めていきます。

(7) いわき市生涯学習プラザ

令和5年度は、指定管理受託期間5か年の第4年度にあたります。引き続き、いわき市における生涯学習の拠点施設としての役割を踏まえた事業を推進し、多様な市民ニーズに応えられるよう努めます。

プラザが企画・運営する主催講座及び、サークルやITリーダーが自主的に企画・運営する「サークル企画講座」を年間50講座程度、実施します。ITボランティアや子育て支援ボランティアによる「ボランティア活用事業」は、参加者・利用者から高い評価を得ており、今後も継続して実施します。市民ニーズが高く、応募者が多い「パソコン実用講座」「健康体力づくり講座」「環境まちづくり講座」「地域サポーター養成講座」は、引き続き内容の充実を図り実施します。また、生涯学習推進計画の重点項目である子育て支援のため、「親子ものづくり講座」「親子陶芸講座」等、親子で参加できる講座の充実を更に図ります。

「いわきヒューマンカレッジ（市民大学）」、「福島大学連携講座」及び「生涯学習フェスティバル」については、全市的な事業として、内容の充実を図りながら、いわき市生涯学習支援ボランティアの会と連携し、効率的な事業運営を図ります。

共催事業としては、一般社団法人茶道裏千家淡交会いわき支部との「お茶会」、いわき市華道連合会との「生け花展」等、各種団体との連携事業も実施します。

3 管理部門（法人会計）

(1) 基本方針

事務局は、公益財団法人及び指定管理者としての立場を踏まえ、当財団が担う使命を全ての職員が一体となって遂行していけるよう、運営の方向性を明確に示しながら、施設との連絡調整を行い、財団全体の事業推進をサポートします。

また、理事会・評議員会を適切に開催し、収支相償に留意しながら、円滑な財団運営を図ります。

さらに、人材の確保・育成を推進するために、健康管理をはじめとした福利厚生や研修制度の充実を図るとともに、必要に応じた処遇の改善にも努めます。

(2) 事業計画

ア 組織運営

円滑な組織運営を行うため、法令等の改正にあわせた就業規則等諸規程の整備及び適切な運用を図るとともに、収支相償の原則を遵守しながら、財源の効率的な執行を推進し、最適な施設管理に努めます。

また、施設長会議や事務担当者会議を定期的で開催することにより、各種情報の共有及び課題の解決を図ります。

イ 人材育成

職員の資質向上を目指し、ふくしま自治研修センターでの基本研修をはじめ、専門的な研修や各種講習会への参加、個人研究に対する自主研修制度の利用促進を積極的に推進します。

各施設における調査・研究及び個人研究の成果については、「研究紀要」の刊行を通して、市民等に還元します。引き続き歴史・民俗・文学や社会教育に関する専門職員の成果を多数掲載し、当財団の特色を出していきます。

ウ 情報発信

財団の財務諸表の公開はもとより、各施設の事業計画やイベント等の情報をホームページやSNS、連携したリーフレットを通じ、適時適切に提供します。

エ 啓発事業

職員の専門性を活かし、小・中学校や公民館、地域団体等の要請による出前講座を積極的に実施します。

また、「たからものずかん」シリーズを、継続して刊行します。

4 職員に関する事項

(令和5年1月31日現在)

(1) 事務局

括弧内数字：兼務職員数 単位：名

区 分	事務局長 同相当職	次 長 同相当職	係 長 同相当職	主任職	係 員	嘱託職員	補助職員	計
事務局	1	1	—	—	—	—	—	2
企画管理係	—	1	—	2	—	—	1	4
調査係	—	—	2	2	3	3	15	25
計	1	2	2	4	3	3	16	31

(2) 施 設

区 分	館 長 所 長	次 長 同相当職	係 長 同相当職	主任職	係 員	嘱託職員	補助職員	計
文学館	1	1	—	2	1	—	3	8
伝承郷	1	—	1	1	1	—	4	8
勿来関 文学歴史館	1	—	—	—	1	1	2	5
アンモナイト センター	1	—	—	1	—	1	3	6
考古資料館	(1)	—	(3)	(2)	(3)	—	2	2 (9)
いわき海浜 自然の家	1	1	3	2	—	2	7	16
生涯学習 プラザ	1	1	1	1	1	—	6	11
計	6 (1)	3	5 (3)	7 (2)	4 (3)	4	27	56 (9)

合 計	7 (1)	5	7 (3)	11 (2)	7 (3)	7	43	87 (9)
-----	----------	---	----------	-----------	----------	---	----	-----------

収 支 予 算 書

収 支 予 算 書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位千円)

科 目	当年度	前年度	増減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益 (A)	1	1	0	
基本財産受取利息	1	1	0	
事業収益 (B)	795,852	739,807	56,045	
文化財調査受託料	308,472	262,614	45,858	事業受託14件
施設指定管理料	475,928	466,962	8,966	施設8件
いわき市立草野心平記念文学館	76,619	76,558	61	
いわき市草野心平生家	3,254	3,254	0	
いわき市暮らしの伝承郷	51,570	51,520	50	
いわき市勿来関文学歴史館	37,282	35,798	1,484	
いわき市アンモナイトセンター	26,704	26,554	150	
いわき市考古資料館	17,676	17,647	29	
福島県いわき海浜自然の家	160,912	158,571	2,341	
いわき市生涯学習プラザ	101,911	97,060	4,851	
施設事業受託料	9,891	8,372	1,519	事業受託5件
吹風殿開閉業務	338	328	10	勿来関文学歴史館
収集資料調査検証業務	1,509	0	1,509	〃
未来キッズ生き生き事業	3,650	3,650	0	いわき海浜自然の家
心のケアが必要な子ども対象事業	500	500	0	〃
いわきヒューマンカレッジ	3,894	3,894	0	生涯学習プラザ
施設利用料	1,540	1,838	△298	施設1件
出版物頒布料	21	21	0	
雑収益 (C)	553	574	△21	
受取利息	5	5	0	
雑収益	548	569	△21	
経常収益計 (D)	796,406	740,382	56,024	(A～C)
(2) 経常費用				
事業費 (E)	762,417	701,519	60,898	
給料手当	113,158	121,677	△8,519	
賞与引当金繰入額	10,689	12,049	△1,360	
賃金	230,050	207,023	23,027	
共済費	53,657	50,086	3,571	
報償費	6,608	6,132	476	
旅費	4,562	5,207	△645	
消耗品費	12,613	11,595	1,018	
被服費	616	576	40	

科 目	当年度	前年度	増減	備 考
燃料費	9,043	8,130	913	
食糧費	486	506	△20	
印刷製本費	26,300	16,632	9,668	
光熱水費	43,390	31,780	11,610	
修繕費	8,763	8,889	△126	
通信運搬費	5,529	6,507	△978	
広告料	387	571	△184	
手数料	1,452	1,225	227	
保険料	1,432	1,539	△107	
委託料	128,535	94,952	33,583	
使用料及び賃借料	49,449	61,597	△12,148	
工事請負費	825	1,540	△715	
原材料費	226	424	△198	
負担金	340	325	15	
公租公課	42,347	40,037	2,310	
消耗什器備品費	300	564	△264	
減価償却費	11,187	11,187	0	
支払利息	473	769	△296	
管理費	47,893	51,473	△3,580	
報酬	399	399	0	
給料手当	19,313	21,134	△1,821	
賞与引当金繰入額	2,096	2,236	△140	
賃金	4,447	4,295	152	
共済費	5,463	6,113	△650	
報償費	260	260	0	
旅費	624	648	△24	
交際費	80	80	0	
消耗品費	1,080	744	336	
被服費	30	30	0	
燃料費	72	72	0	
食糧費	68	68	0	
印刷製本費	2,102	3,602	△1,500	
光熱水費	150	125	25	
修繕費	100	900	△800	
通信運搬費	328	304	24	
広告料	50	50	0	
手数料	466	466	0	
保険料	198	152	46	
委託料	2,071	1,940	131	
使用料及び賃借料	2,102	2,097	5	
負担金	1,148	1,159	△11	
補償費	38	38	0	

科 目	当年度	前年度	増減	備 考
公租公課	3,908	4,011	△103	
消耗什器備品費	1,300	550	750	
減価償却費	0	0	0	
経常費用計 (G)	810,310	752,992	57,318	(E+F)
当期経常増減額 (H)	△13,904	△12,610	△1,294	(D-G)
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計 (I)	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計 (J)	0	0	0	
当期経常外増減額 (K)	0	0	0	(I-J)
当期一般正味財産増減額 (L)	△13,904	△12,610	△1,294	(H+K)
一般正味財産期首残高 (M)	148,739	161,349	△12,610	
一般正味財産期末残高 (N)	134,835	148,739	△13,904	(L+M)
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額 (O)	0	0	0	
指定正味財産期首残高 (P)	10,000	10,000	0	
指定正味財産期末残高 (Q)	10,000	10,000	0	(O+P)
III 正味財産期末残高	144,835	158,739	△13,904	(N+Q)

資金調達及び設備投資の見込について

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

1 資金調達の見込について

借入の予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業番号	借入先	金額		使途	

2 設備投資の見込について

設備投資の予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額		資金調達方法 又は取得資金の使途	